

# カリキュラムマップ（科目ナンバリング）

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかが示されています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

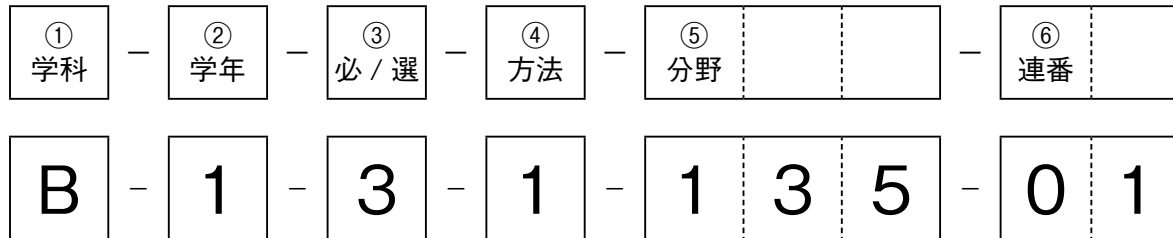
カリキュラムマップの授業科目には科目ナンバーが付いています。これを科目ナンバリングと言います。

科目ナンバリングは授業科目に適切な番号を付与し分類することで、学修の段階や順序等を表し、カリキュラムの体系的性を明示する仕組みで学生が科目の水準や専門性に依りて適切な授業科目を選択し、受講する手助けとなります。また、分野の3桁は全学共通のコードであるため他学部や他学科の科目を履修する際に、学びたい分野を探し体系的に履修するための1つのツールとして活用することができます。

## カリキュラムマップ (科目ナンバリング)

## 1 科目ナンバリングの構成について

本学の科目ナンバリングは、以下の英数字9桁にて表します。



(例) 「文学Ⅰ」の科目ナンバー **B131 - 135 - 01**

①教養教育科目の ⑤文学一般関連分野の科目で ⑥1番目、授業は ②大学1年次レベル・③選択科目・④講義形式で授業を行う。

## 【ナンバリングの項目とコード】

## ① 科目の設置学科(英字1文字)

学科学籍番号に表示のアルファベットが各学科の記号

R : 宗教文化学科	H : 歴史学科	K : 英語英米文化学科
N : 日本文化学科	V : グローバル英語学科	C : 商学科
M : 経営学科	E : 経済学科	J : 法律学科
W : 現代社会法学科	G : 総合政策学科	P : 心理学科
Z : 健康科学科	X : 健康栄養学科	A : 医療薬学科
D : 歯学科	B : 教養教育科目	L : 資格課程科目
Q : 自由選択科目		

## ② 科目の難易度(数字1文字)

0 : 大学補習レベル	1 : 大学1年次レベル	2 : 大学2年次レベル
3 : 大学3年次レベル	4 : 大学4年次レベル	
5 : 大学5年次レベル(薬・歯)	6 : 大学6年次レベル(薬・歯)	

## ③ 必修・選択の別(数字1文字)

1 : 必修科目	2 : 選択必修科目	3 : 選択科目
----------	------------	----------

## ④ 授業の方法(数字1文字)

1 : 講義	2 : 演習	3 : 実験・実習	4 : 外国語	5 : 実技
6 : 卒業論文	7 : 臨床実習	8 : 認定	9 : その他	

## ⑤ 科目分野(英数字3文字)

「科目ナンバリング分野一覧」を参照

## ⑥ 科目認識番号(英数字2文字)

科目分野の下に割り当て、学部学科独自の方法にて表示します。

## カリキュラムマップ (科目ナンバリング)

## 2 科目ナンバリング分野一覧

コード	分野	コード	分野	コード	分野
111	哲学、論理学および倫理学関連	271	教育学関連	613	知能情報学関連
112	中国哲学、印度哲学および仏教学関連	272	教育社会学関連	621	生命、健康および医療情報学関連
113	宗教学関連	276	特別支援教育関連	622	ウェブ情報学およびサービス情報学関連
114	思想史関連	277	教育工学関連	634	環境影響評価関連
115	美学および芸術論関連	281	社会心理学関連	644	自然共生システム関連
116	美術史関連	282	教育心理学関連	646	環境政策および環境配慮型社会関連
117	芸術実践論関連	283	臨床心理学関連	737	プランニング関連
118	科学社会学および科学技術史関連	284	実験心理学関連	738	社会システム工学関連
131	日本文学関連	285	心理学基礎関連	772	分析化学関連
132	中国文学関連	286	心理学展開関連	801	地域研究関連
133	英文学および英語圏文学関連	287	公認心理師および認定心理士関連	802	アメリカ領域関連
135	文学一般関連	323	数学基礎関連	803	イギリス領域関連
136	言語学関連	388	食品科学関連	804	英語圏領域関連
137	日本語学関連	411	食料農業経済関連	811	観光学関連
138	英語学関連	420	自然科学基礎関連	821	ジェンダー関連
139	日本語教育関連	423	動物生命科学関連	841	演習(基礎)関連
140	外国語教育関連	445	動物生理化学、生理学および行動学関連	842	演習(専門)関連
141	英語演習関連	451	遺伝学関連	843	演習(外書)関連
142	通訳・翻訳関連	454	生態学および環境学関連	845	卒業論文関連
143	ESP関連	471	薬系化学および創薬科学関連	851	学外実習関連
144	英語系資格関連	474	薬理学関連	852	学外研修関連
145	ドイツ語関連	481	解剖学関連	861	キャリア教育関連
146	フランス語関連	482	生理学関連	901	デザイン学関連
147	中国語関連	492	人体病理学関連	902	図書館情報学および人文社会情報学関連
148	韓国語関連	495	細菌学関連		
149	スペイン語関連	503	医学一般関連		
161	史学一般関連	511	基盤脳科学関連		
162	日本史関連	512	認知脳科学関連		
163	アジア史およびアフリカ史関連	513	病態神経科学関連		
164	イスラム圏史関連	521	内科学一般関連		
165	ヨーロッパ史およびアメリカ史関連	522	神経内科学関連		
166	考古学関連	523	精神神経科学関連		
167	文化財科学関連	525	胎児医学および小児成育学関連		
181	地理学関連	531	消化器内科学関連		
182	人文地理学関連	556	救急医学関連		
183	文化人類学および民俗学関連	565	耳鼻咽喉科学関連		
211	基礎法学関連	567	形成外科学関連		
212	公法学関連	571	常態系口腔科学関連		
213	国際法学関連	576	外科系歯学関連		
214	社会法学関連	578	社会系歯学関連		
215	刑事法学関連	582	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む		
216	民事法学関連	583	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない		
217	新領域法学関連	585	基礎看護学関連		
221	政策学関連	586	臨床看護学関連		
222	政治学関連	587	生涯発達看護学関連		
223	国際関係論関連	591	リハビリテーション科学関連		
231	理論経済学関連	592	スポーツ科学関連		
232	経済学説および経済思想関連	593	体育および身体教育学関連		
233	経済統計関連	594	栄養学および健康科学関連		
234	経済政策関連	601	情報学基礎論関連		
235	公共経済および労働経済関連	602	数理情報学関連		
236	金融およびファイナンス関連	603	統計科学関連		
237	経済史関連	605	ソフトウェア関連		
238	経営学関連	606	情報ネットワーク関連		
239	商学関連	607	情報セキュリティ関連		
240	会計学関連	608	データベース関連		
261	社会学関連	611	知覚情報処理関連		
262	社会福祉学関連	612	ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連		





経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																		
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力				E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士	
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7	
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力	
論理学 I B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。	◎																	
論理学 II B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。	◎																	
文学 I B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力を、を修得することを目標とする。	◎																	
文学 II B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力を、を修得することを目標とする。	◎																	
美術 I B131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通して現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出ししていく。	◎																	
美術 II B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を高め表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。	◎																	
法学 I B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法の基本原理を理解する。	◎															◎		
法学 II B131-211-02	民法の基礎について講義する。	民法の基本原理を理解する。	◎																◎	

経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士													
			E-DP1-1 理論的基礎力		E-DP1-2 数量的解決能力		E-DP1-3 コミュニケーション能力		E-DP1-4 ICT処理能力		E-DP1-5 文化的理解力		E-DP2-1 問題発見力		E-DP2-2 論理的思考力		E-DP3-1 応用的分析力		E-DP3-2 問題解決力		E-DP3-3 協働的実践力		E-DP4-1 実践的応用力		E-DP4-2 倫理的判断力		E-DP4-3 総合的構想力		E-DP4-4 生涯学習力		E-DP5 基礎的キャリア形成力		E-DP6 社会人基礎力		E-DP7 応用的キャリア形成力	
			◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎	
			◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎	
政治学 I B131-222-01	民主主義・自由主義などの原理、 執政制度・選挙制度などの政治制 度を学ぶ。	政治の基本的原理や制度を理解す る。	◎																																	
政治学 II B131-222-02	日米英独仏など各国の政治を比較 して学ぶ。国際政治の仕組みにつ いて学ぶ。	各国政治および国際政治の基本を 理解する。	◎																																	
社会学 I B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、 社会学が考えてきたこと、明らか にしてきたことを確認し、社会学 の概念や方法を理解していきま す。また、それらの知識を用いて、 現代社会の諸課題についても考え ます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」 を理解すること。そして、社会学 的思考を用いて、自ら現代社会の 諸課題の構相について説明できる ようになること。	◎																																	
社会学 II B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、 コミュニティ等を取り上げ、社会 学的な視点からそれらの集団の特 徴を理解していきます。そして各 集団と現代社会の諸課題の関連に についても考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そ して、現代社会の諸課題が各集団 のなかでなぜ発生し、どのように 顕在化していくのかについて説明 できるようになること。	◎																																	
教育学 I B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるた めに欠かせない「教育」を対象とす る学問である。その特徴は哲学、 歴史学、社会学、行政学などの学 問を基礎とした学際的な性格にあ り、本授業では教育を様々な角度 から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解 できるとともに、その基礎知識や 概念を活用して現代の教育状況 について多面的に考察でき、さら に自らが社会の形成者として教育 についての意見を持つことができ ることを目指す。	◎																																	
教育学 II B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるた めに欠かせない「教育」を対象とす る学問である。その特徴は哲学、 歴史学、社会学、行政学などの学 問を基礎とした学際的な性格にあ り、本授業では教育を様々な角度 から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解 できるとともに、その基礎知識や 概念を活用して現代の教育状況 について多面的に考察でき、さら に自らが社会の形成者として教育 についての意見を持つことができ ることを目指す。	◎																																	

経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																	
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力			E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力			E-DP5 実践的学士				
			E-DP1-1 理論的基礎力	E-DP1-2 数量的理解力	E-DP1-3 コミュニケーション能力	E-DP1-4 ICT処理能力	E-DP1-5 文化的理解力	E-DP2-1 問題発見力	E-DP2-2 論理的思考力	E-DP2-3 応用的分析力	E-DP3-1 問題解決力	E-DP3-2 協働的実践力	E-DP3-3 協働的実践力	E-DP4-1 実践的応用力	E-DP4-2 倫理的判断力	E-DP4-3 総合的構想力	E-DP4-4 生涯学習力	E-DP5 基礎的キャリア形成力	E-DP6 社会人基礎力
歴史学 I B131-161-01	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○		○								○						
歴史学 II B131-161-02	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○		○								○						
地理学 I B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な実例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なものとのとらえ方を身に着ける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。	○																
地理学 II B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なものとのとらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べることができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。	○																
数学 I B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。	○																
数学 II B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。	○																
統計学 I B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。	○																

経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

経済学部 授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			E-DP1-1 理論的基礎力		E-DP1-2 数量的解決能力		E-DP1-3 コミュニケーション能力		E-DP1-4 ICT処理能力		E-DP1-5 文化的理解力		E-DP2-1 問題発見力	E-DP2-2 論理的思考力	E-DP3-1 応用的分析力	E-DP3-2 問題解決力	E-DP3-3 協働的実践力	E-DP4-1 実践的応用力	E-DP4-2 倫理的判断力	E-DP4-3 総合的構想力	E-DP4-4 生涯学習力	E-DP5 基礎的キャリア形成力	E-DP6 社会人基礎力	E-DP7 応用的キャリア形成力	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。	○	○																					
物理学Ⅰ B131-420-01	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ?という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。	○																						
物理学Ⅱ B131-420-02	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ?という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。	○																						
化学Ⅰ B131-420-11	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。	○																						
化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。	○																						
生物学Ⅰ B131-420-21	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。	○																						
生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。	○																						
仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる																							
仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる																							

経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																	
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力
禅と人間 I B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語(公案)を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する	◎											◎					
禅と人間 II B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもとで成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する	◎											◎					
生命に関する諸問題 I B231-118-01	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。												◎					
生命に関する諸問題 II B231-118-02	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。												◎					
人間行動の理解 I B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考え方からデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。	◎											◎					
人間行動の理解 II B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理学のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。	◎											◎					
人間の尊厳と平等 I B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようになる。また、差別について批判的精神を養う。												◎					









経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

経済学部 経済学部のディプロマポリシー (DP)	授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
				基礎的学士力		発展的学士力		総合的学士力		基礎的学士力		発展的学士力		総合的学士力		基礎的学士力		発展的学士力		総合的学士力		基礎的学士力		発展的学士力			
				E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5-1	E-DP5-2	E-DP5-3	E-DP6-1	E-DP6-2	E-DP6-3	E-DP7-1	E-DP7-2		
				理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	実践的キャリア形成力	応用的キャリア形成力						
日本語 I c B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事象と自分の考えとを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。	○																								
日本語 I c B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み書きの高度な日本語力を身につけることができる。	○																								
日本語 I d B214-139-07	意見文を読み、自分の意見を述べたり、内容を要約したりする。	社会で問題になっている様々な問題について、自分の考えをわかりやすく述べる事ができる。	○																								
日本語 I d B214-139-08	デバイスやスベーチ学習などを通して、まとまりのある内容的に伝える方法を学ぶ。	自分の考えをわかりやすく伝えることができる。	○																								
日本語 I e B214-139-09	「食」をメインテーマに課題を設定し、資料を集め、まとめて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。	○																								
日本語 I e B214-139-10	日本の文化や社会に関するテーマについて、課題を設定し、調べて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。	○																								
英会話 I B134-141-11	外国人教員による英会話演習	簡単な英会話で自己表現ができる	○																								
英会話 II B134-141-12	外国人教員による英会話演習	少し発展的な内容の英会話で自己表現ができる	○																								
英会話 III B234-141-21	外国人教員による発展的英会話演習	日常的な内容の英会話で自己表現ができる	○																								
英会話 IV B234-141-22	外国人教員による発展的英会話演習	発展的な様々な内容の英会話で自己表現ができる	○																								
メディア英語 I B134-141-17	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで基本的な表現が理解できる	○																								
メディア英語 II B134-141-18	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで少し発展的な表現が理解できる	○																								
メディア英語 III B234-141-27	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで多くの表現をそのまま理解できる	○																								
メディア英語 IV B234-141-28	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで発展的な内容をそのまま理解できる	○																								
英語表現法 I B134-141-15	英作文や会話などの英語による自己表現演習	英作文や会話などの英語を使って自己表現ができる	○																								

経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																																						
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力				E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士																					
			E-DP1-1 理論的基礎力		E-DP1-2 数量的理解力		E-DP1-3 コミュニケーション能力		E-DP1-4 ICT処理能力		E-DP1-5 文化的理解力		E-DP2-1 問題発見力		E-DP2-2 論理的思考力		E-DP3-1 応用的分析力		E-DP3-2 問題解決力		E-DP3-3 協働的実践力		E-DP4-1 実践的応用力		E-DP4-2 倫理的判断力		E-DP4-3 総合的構想力		E-DP4-4 生涯学習力		E-DP5 基礎的キャリア形成力		E-DP6 社会的基礎力		E-DP7 応用的キャリア形成力					
			基礎力	理解力	数量的	数量的	コミュニケーション	ICT処理	文化的	問題	論理的	応用的	問題	論理的	応用的	問題	協働的	実践的	倫理的	総合的	実践的	倫理的	総合的	生涯	基礎的	社会的	基礎的	社会的	応用的	キャリア	基礎的	社会的	応用的	キャリア						
英語表現法Ⅱ B134-141-16	英作文や会話などの英語による自己表現演習	少し発展的な英語を使って自己表現ができる	○																																					
英語表現法Ⅲ B234-141-25	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる	○																																					
英語表現法Ⅳ B234-141-26	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	少し発展的な英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる	○																																					
英語読解法Ⅰ B134-141-13	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる	○																																					
英語読解法Ⅱ B134-141-14	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で少し発展的な英文の内容が理解できる	○																																					
英語読解法Ⅲ B234-141-23	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる	○																																					
英語読解法Ⅳ B234-141-24	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な発展的な英文の内容が理解できる	○																																					
実践英語Ⅰ B134-141-31	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で基礎的な問題の解答ができる	○																																					
実践英語Ⅱ B134-141-32	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で少し発展的な問題の解答ができる	○																																					
実践英語Ⅲ B234-141-41	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で発展的な問題の解答ができる	○																																					
実践英語Ⅳ B234-141-42	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で少し高度な問題の解答ができる	○																																					
ドイツ語Ⅰ(基礎) B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構法の理解	○																																					
ドイツ語Ⅱ(基礎) B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構法の理解	○																																					
ドイツ語Ⅲ(読解) B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化	○																																					
ドイツ語Ⅳ(読解) B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化	○																																					
ドイツ語Ⅲ(表現) B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化	○																																					
ドイツ語Ⅳ(表現) B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化	○																																					
ドイツ語Ⅲ(総合) B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級テキストを用いたドイツ語の運用能力強化	○																																					
ドイツ語Ⅳ(総合) B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級テキストを用いたドイツ語の運用能力強化	○																																					



経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力				E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			基礎的学士力					発展的学士力					基礎的学士力		発展的学士力		総合的学士力		総合的学士力		基礎的学士力	発展的学士力	総合的学士力	実践的学士			
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7								
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力								
中国語Ⅳ(表現) B234-147-32	中国語Ⅲ(読解)を受けて、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	○																								
中国語Ⅲ(総合) B234-147-41	1年次に習得した中国語を基礎に、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、常用語を身につけ、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の運用能力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	○																								
中国語Ⅳ(総合) B234-147-42	中国語Ⅲ(総合)を受けて、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、使える常用語を増やし、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	○																								
中国語会話Ⅰ B234-147-51	発音の練習を重視し、ペアワークによる会話練習を行い、中国語の会話力を向上させる。併せて、作文と翻訳の練習も行い、中国語の総合的な運用能力を高める。	1年次で学んだ中国語の発音をより正確なものにし、あいさつなどの簡単な言葉から日常用いる初歩的な会話ができるようになる。中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	○																								
中国語会話Ⅱ B234-147-52	中国語会話Ⅰを受け、引き続き発音練習を重視し、ペアワークによる会話練習をばらばら行い、会話力をより向上させる。併せて作文と翻訳の練習にも力を入れ、中国語の総合的な運用能力を高める。	中国語をより正確に発音できるようにし、より多くのことを表現できるような会話力を高める。会話力と同時に、作文能力や読解力も向上させ、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	○																								
フランス語Ⅰ(基礎) B134-146-11	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。	○																								



経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																	
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力
韓国語Ⅲ(表現) B234-148-31	文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基本文の作り方を練習する。そのために、基本文法と単語の学習を充実に行う。これに基づいて、実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		○															
韓国語Ⅳ(表現) B234-148-32	韓国語の文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基礎的な文の作り方を練習する。そのために、基本文法と基礎単語の学習を充実に行う。実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		○															
韓国語Ⅲ(総合) B234-148-41	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象にし、ハンゲル検定試験5級に合格するために必要な発音の仕組み、基本文法などを学習していく。文法事項や語句、日常会話文等を繰り返し練習し、ハンゲル検定試験5級合格に必要な基本的な能力を身につける。	基本文法については韓国語Ⅰ・Ⅱで学習した復習から始め、ハンゲル検定試験5級合格のために必要な発音と文法を学び、自ら学習できるようにする。基本文法と語句、日常会話文などの反復学習を通して習得していく。また練習問題と課題を通して、その定着と更なる応用発展を図る。		○															
韓国語Ⅳ(総合) B234-148-42	ハンゲル検定試験5級に合格するため、基本文法、語句、日常会話文などを学習する。また11月に実施されるハンゲル検定試験に向けて実際の過去問を用いて練習する。適宜、試験に必要な発音や文法、語彙に関する解説を行う。	ハンゲル検定試験5級に合格する、あるいは5級に挑戦できる能力を身につけることを目標とする。すでに5級を取得した学生にとっても、次のステップアップにつながる足場を固める場となることを目標とする。		○															
韓国語会話Ⅰ B234-148-51	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることにより、積極的に話す機会を与えらる。	ハンゲルの読み書きが確実に行えるようにする。基礎的な文法を身につけ、あいさつ、自己紹介、身の回りのことについて自分の言いたいことを伝え、相手とコミュニケーションが取れるようにする。		○															

経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																		
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力				E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士	
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7	
			理論的基礎力	数量的解決力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力	
韓国語会話Ⅱ B234-148-52	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達している。会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話を活用して実際に話してみる。ことにより、積極的に話す機会を与える。	約700個の単語をもとに、初級レベルに必要な会話を身につけるようにする。その上で日本語とは異なる韓国語特有の会話の仕方を学習し、その背景にある文化についても考察できるようにする。	○																	
韓国語会話Ⅲ B234-148-53	ネイティブによる発展的韓国語演習	韓国語の日常的な会話で自己表現ができる。	○																	
韓国語会話Ⅳ B234-148-54	ネイティブによる発展的韓国語演習	韓国語の発展的な様々な内容の会話で自己表現ができる。	○																	
スペイン語Ⅰ(基礎) B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習する。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。	○																	
スペイン語Ⅱ(基礎) B134-149-12	スペイン語Ⅰ(基礎)で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。	○																	
スペイン語Ⅲ(読解) B134-149-21	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形などさらさらレアルアップした内容を学んでいく。	さまざまな時制を含むバリエーションに富んだ文章が理解できるようになる。	○																	
スペイン語Ⅳ(読解) B134-149-22	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、幅広い種類の文章に慣れる。	辞書を使ってやや長い文章が理解できるようになる。	○																	
スペイン語Ⅲ(表現) B134-149-31	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去や未来の時制とといった中級程度の内容を学ぶ。	あらゆる時制を使いこなし、自分の気持ちがある程度自由に表現できるようになる。	○																	
スペイン語Ⅳ(表現) B134-149-32	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、表現の幅を広げていく。	辞書を使いながら、大きな支障なくコミュニケーションが取れるようになる。	○																	

経済学部 カリキュラムマップ	授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力					E-DP3 発展的学士力					E-DP4 総合的学士力					E-DP5 実践的学士		
				基礎的学士力					基礎的学士力					基礎的学士力					基礎的学士力					総合的学士力					実践的学士		
				E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP2-3	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5-1	E-DP5-2	E-DP5-3										
				理論的基礎力	数量的解決力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	協働的実践力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力										
スペイン語Ⅲ(総合) B134-149-41	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に 向けた授業。過去形など中級程度 の内容を学び、演習を多く行う。	会話や文字などさまざまな手段 で、自分の気持ちがある程度自由 に表現することができる。	○																												
スペイン語Ⅳ(総合) B134-149-42	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学 生に向けた授業。命令形や反復仮 想といった上級レベルの表現を学 ぶ。	辞書を使えば大きな支障なく相手 とスムーズなやり取りができる。	○																												
スペイン語会話Ⅰ B134-149-51	先生や学生どうしでのコミュニ ケーションを通して、正しい発音 を身につけつつ挨拶など基礎的な 表現を学ぶ。	挨拶、簡単な自己紹介、日常の動 作といった基本的な表現を覚え、 簡単なコミュニケーションが取れ るようになる。	○																												
スペイン語会話Ⅱ B134-149-52	スペイン語会話Ⅰを履修した学生 を対象に、嗜好や予定などさらに バリエーション豊かな表現を学 ぶ。	繰り返し練習を重ね、辞書を使っ てさらに複雑なコミュニケーション が取れるようになる。	○																												
スポーツ科学Ⅰ B115-592-01	運動の実践により、生涯健康の基 礎作りを目指す。運動の楽しさや 健康の価値、意味を理解し自己管 理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精 神的、社会的な健康を獲得する。 学生同士の協調性や連帯感を理解 させ、豊かな人間性を高めていく。	○																												
スポーツ科学Ⅱ B115-592-02	運動の実践により、生涯健康の基 礎作りを目指す。運動の楽しさや 健康の価値、意味を理解し自己管 理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精 神的、社会的な健康を獲得する。 学生同士の協調性や連帯感を理解 させ、豊かな人間性を高めていく。	○																												
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とす る。運動習慣の継続と生涯健康ス キルを養成させる。	趣向や目的に適した種目を選択 し、個人能力に応じたレベルでス ポーツ実践する。「生涯健康の理 論と実践の統合」を目標とする。																													
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とす る。運動習慣の継続と生涯健康ス キルを養成させる。	趣向や目的に適した種目を選択 し、個人能力に応じたレベルでス ポーツ実践する。「生涯健康の理 論と実践の統合」を目標とする。																													
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリ ス、アメリカ、韓国、台湾の各国 の提携校でホームステイ先や学生 宿舎に滞在しながら、語学力を磨 いたり現地の文化を経験したりす る。	渡航先の大学で開講される授業や プログラムを通して、語学力を向 上させる。幅広く異文化に触れる ことで、多様な価値観や考え方を 理解できるようになる。	○																												

経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

経済学部 カリキュラムマップ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力				E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士力			
			基礎的学士力					発展的学士力					基礎的学士力		発展的学士力		総合的学士力		総合的学士力		基礎的学士力		実践的学士力					
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5-1	E-DP5-2	E-DP6-1	E-DP6-2	E-DP7-1	E-DP7-2						
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	実践的キャリア形成力	応用的キャリア形成力								
海外事情 II B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アメリカ、韓国、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎																									
海外事情 III B139-852-03	マレーシアの提携校で実施されるワーケーションや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。		◎																								
海外事情 IV B139-852-04	マレーシアの提携校で実施されるワーケーションや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。			◎																							
ミクロ経済学 I・II E111-231-01 E111-231-02	入門レベルのミクロ経済学を講義する。ミクロ経済学では主に完全競争市場を、ミクロ経済学IIでは経済主体の合理的行動と市場の失敗を扱う。	経済学の基本的な考え方を理解し、すべての応用分野を学習するために必要な知識を身につけることが目標である。	◎																									
マクロ経済学 I・II E111-231-04 E111-231-05	国内総生産をはじめとする経済データの理解、経済主体の相互依存関係、財市場・貨幣市場・労働市場の分析などを通じて、経済学の「森」を鳥瞰する。	社会全体の視点から経済学の基本的な概念・理論を理解し、マクロ経済学的に経済事象を論じることができ。																										
経済数学 I・II E111-231-07 E111-231-08	経済学を学ぶために必要な数学を講義する。さまざまな関数、微分と最適化問題などを学びながら、論理的な思考力や解答の作成方法を身につける。	中学校・高等学校レベルの数学を正しく理解し基本的な最適化問題を解けるようになること、論理的な解答を作成できるようになることが目標である。																										

経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			基礎的学士力					発展的学士力					基礎的学士力			総合的学士力				実践的学士						
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7									
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	論理的思考力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会人基礎力	応用的キャリア形成力								
キャリア英語 I・II E111-144-01 E111-144-02	実用的な英語力、特にビジネスシーンで生かせる英語力の育成を旨として、TOEICを中心とした演習を行う。	基礎的な英語表現を確認するとともに、ビジネスシーンにおいて使用される語彙や表現を新たに学んで、実用的な英語表現を多く修得する。	◎																							
情報リテラシー A・B E111-277-01 E111-277-02	大学における学習や研究活動、さらには就職活動や就職後の社会生活まで見越した情報リテラシー(ビジネス系ソフトウェアの基礎的な技能とICT全般の基礎的知識)を学ぶ。	文書編集のWord、表計算のExcel、プレゼンテーションのPowerPointといったソフトウェアの基礎的な操作方法とセキュリティや情報モラル等を含めたICT全般の基礎的知識が身につく。	◎																							
経済統計学 A・B E221-233-01 E221-233-02	経済現象を客観的に捉えるための知識と手法を身につけることを目指し、SNA関連指標をはじめとする経済統計の特徴と、経済データを分析するための統計的手法について説明する。	・経済統計と経済理論との関連を理解することができる。 ・基本的な統計的手法の要点を理解し、経済データの特徴を客観的に捉えることができる。 ・Excelを用いて経済データを分析することができる。	◎																							
経済学史 A・B E221-232-01 E221-232-02	経済学という学問がいかんにかして誕生したか、それが近代社会の発展とともにどのように発展してきたか、メジャーな経済学者を取り上げて講義する。	経済学の発達史を学び、多様な経済学・経済についての多様な理解があることを知り、経済という人間の営みについて幅広い柔軟な理解を獲得する。							◎																	
一般経済学 A・B E221-237-01 E221-237-02	ヨーロッパ・アメリカの経済社会の誕生、確立、発展、変容の歴史過程を概説したのち、ヨーロッパとアジアの比較の視点を中心に、アジアから見た世界経済の歴史を講述する。	経済史の基本概念および世界経済の歴史的展開に関する基礎知識を身につけ、現代の経済社会の状況を歴史的視角から把握できる力(歴史的思考力)を培う。							◎																	
経済政策論 A・B E221-234-01 E221-234-02	政府は市場で効率的に配分できない財・サービスを規制や制度(ルール)を用いることで、できるだけ効率的に配分できるようにする。政府の政策を具体的な事例で理解する。	市場の役割と政府の役割を理解する。政府の役割に関して、政策の理論とその解決策を具体的な事例から学ぶ。							◎						◎											

経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																		
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力				E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士	
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP2-3	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基礎力	数量的解決力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	協働的実践力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力
社会政策論 A・B E221-235-03 E221-235-04	人々の基本的な労働と生活を保障するのが社会政策であり、わが国では厚生労働省の管轄となる。雇用保障・生活保障について、これまでの展開、現状と今後の政策論的に論じる。	雇用保障・生活保障はますます重要性を増しつつあり、それらの位相を掘り下げた学習することによって現代日本における課題や問題点を把握できるようにする。	○																	
日本経済論 A・B E221-234-03 E221-234-04	先進国の中でも最も速く進む少子高齢化が今後の日本経済に与える影響や、世界経済の中における日本経済についての理解を深める。	少子高齢化が経済成長と財政・社会保障問題に与える影響や、貿易や直接投資が日本経済に与える影響についての議論を理解できるようにする。	○																	
国際経済学 A・B E221-234-05 E221-234-06	ミクロ経済学やマクロ経済学の理論をもとに国際貿易と国際金融の基礎的知識を身につける。	国際経済学の知識を身につけることで国際経済の中に置かれている日本の状況を把握し、グローバルな眼を養う。	○																	
金融論 A・B E221-236-01 E221-236-02	金融論 A では、貨幣や金利、金融市場について学んでいく。金融論 B では、デリバティブやファイナンスを概観する。理解を深めるため、関連するマクロ統計や金融に関するトピック的な話題も盛り込んでいく。	金融論 A では金融の基礎的な仕組みを、金融論 B ではデリバティブやファイナンスの仕組みを理解すること、新聞やニュースで報道される現実の金融の動きを理解できるようにする。	○																	
財政学 A・B E221-235-01 E221-235-02	国の歳入・歳入構造及び予算制度を学んだ上で、財政赤字問題、税制改革及び社会保障財政を検討する。最終的には高齢社会における財政健全化及び持続可能な財政運営について理解を深めたい。	国の財政制度を体系的に理解できるとともに、財政赤字の要因とその解消、高齢社会を乗り切るための「税・社会保障の一体改革」について、自らの政策論を展開できる能力を培う。	○																	



経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士			
			基礎的学士力			基礎的学士力			基礎的学士力			基礎的学士力			基礎的学士力			基礎的学士力			基礎的学士力			基礎的学士力		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7							
			理論的基礎力	数量的解決力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会人基礎力	応用的キャリア形成力							
西洋経済史A・B E331-237-05 E331-237-06	西洋経済史Aは中世から近世、西洋経済史Bは近代から現代を対象期間として、ヨーロッパとアメリカの発展について講義します。市場、資本主義、産業革命・工業化、戦後経済秩序の形成をキーワードとして、現在の社会がどのようなように形成されてきたのかについて経済史の側面から講義します。	ヨーロッパとアメリカを対象として、社会を形作る制度の成り立ちを理解し、現代における諸課題を理解できるようにするために経済史にかんする専門的知識を身につける。	○					○	○																	
労働経済学A・B E331-235-07 E331-235-08	標準的な労働経済学を講義する。労働経済学Aでは労働市場の理論分析と労働市場の現状、労働経済学Bでは労働経済学の理論の応用や人的資源管理論などを扱う。	経済学の基礎理論が賃金や雇用の問題を分析する際にどのように応用されるのかを理解すること、労働に関する統計を読み解くことができるようになることが目標である。						○	○																	
環境経済学A・B E331-234-15 E331-234-16	環境経済学の基本的概念、考え方について詳しくわかりやすく講義する。環境経済学の課題と方法、現代資本主義と環境破壊のメカニズム、環境ガバナンス論、環境費、環境の経済的評価などについて、事例に基づいて説明する。	環境経済学のテーマに則して、基礎的概念として、「環境とは何か」「サステナビリティとは何か」「人間と自然のあいだの物質代謝」「廃棄物の経済学的分析」「地球環境問題」などスライドやビデオも使用して理解を進める。						○	○																	
環境政策論 E331-234-23	環境問題は経済問題であることを踏まえて、環境問題を経済学的視点から検討する。そして、「地球温暖化防止」、「エネルギー供給」、「廃棄物の削減」、「生物多様性の保全」などをテーマにして、環境問題の緩和のためにどのような環境政策(経済的手法)が用いられているかを説明する。	環境問題が発生する基本的な原因が経済活動にあることを理解し、環境問題の緩和や解決には経済活動に影響を与える環境政策が必要であることを理解する。そして、そうした環境政策がどのような経路で経済活動に影響を与えるのかを理解する。				○		○	○																	
都市経済学A・B E331-234-17 E331-234-18	都市の集積の経済および付価値地代の理論を学ぶことによって、農業、工業、商業、住宅、観光の立地を明らかにして、都市の空間構造を理解する。	都市の立地構造を学ぶことによって、商圏およびレジャー・観光施設の分析に応用することができようになり、これらと関連する「まちづくり」についての理解を深める。						○	○																	

経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																	
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力					E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士	
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力
公共経済学A・B E231-235-05 E231-235-06	公共経済学Aでは、ミクロ経済学を応用して、公共財が存在する市場における資源配分とその効率性について説明する。公共経済学Bでは、外部性と呼ばれるものについて説明する。外部性には負の外部性と正の外部性と呼ばれるものがあり、負の外部性を学習することは公害問題や環境問題の理解につながり、正の外部性を学習することは教育や医療に関する問題の理解につながる。春学期開講の公共経済学Aで説明する公共財と合わせて学習することで、様々な社会問題を理論的に理解し、解決方法を考えることができるようになる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共財とは何か説明できるようになること。</li> <li>公共財に関するサミュエルソン条件を説明できるようになること。</li> <li>ゲーム理論の基本を理解すること。</li> <li>囚人のジレンマのゲームを用いて公共財のただ乗り問題を説明できるようになること。</li> <li>クラークメカニズムを理解すること。</li> <li>外部性とは何かを説明できるようになること。</li> <li>外部性が存在するときに資源配分が非効率的になることを説明できるようになること。</li> <li>外部性の解決方法について説明できるようになること。</li> <li>展開形ゲームを理解できること。</li> <li>部分ゲーム完全均衡を求めることができること。</li> </ul>																	
農業経済学A・B E231-411-01 E231-411-02	農業が安全な食料の供給だけでなく、環境保全や国土管理といった多面的機能を果たしていることを学び、これらの機能発揮のために必要な制度や政策、市場の状態について理解する。	現代の農業問題の背景を知り、制度や政策、市場が問題解決のために有効に機能するためにはどうしたらよいか、自らの意見を述べることができるようになる。																	
農業政策論 E331-411-03	現代の食料・農業・農村の政策課題について学び、日欧米諸国における政策動向やオランダ・ブラジルの追求について、家族農業経営に焦点を当てながら理解を深める。	(1)食料・農業・農村政策に関する専門的なキーワードを理解し用いることができる、(2)世界の主要な食料・農業・農村政策について、その背景と目的、効果と課題を説明できる、(3)世界の食料・農業・農村政策の潮流とその変化、日本の役割について、自分の意見を述べることができるようになる、ことを到達目標とする。																	

経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			基礎的学士力					基礎的学士力					基礎的学士力		基礎的学士力		基礎的学士力		基礎的学士力		基礎的学士力		基礎的学士力		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7						
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会人基礎力	応用的キャリア形成力						
現代産業論 A・B E231-234-07 E231-234-08	現代の高度に発展した経済は、様々な生産活動＝産業から成り立っている。Aでは産業間の関係(産業連関)と現代日本の産業構造について学ぶ。Bでは日本の産業構造の変化と経済成長について学ぶ。	A: 分業の意義や産業間の関係(産業連関)などについて理解する。 B: 産業構造の変化とその要因、戦後の日本経済における産業構造の変化と経済成長などについて理解する。																							
企業経済学 E331-238-02	企業の構造や意思決定、取引、戦略などの企業経営をめぐる基本的なトピックについてミクロ経済学の考え方を応用して体系的に解説することを目的としている。	本講義を受講することにより、学生は市場の仕組みを経済学の視点からより詳しく学び、ビジネスと経済のつながりについて、理解を深めることが期待される。																							
社会保障論 E331-235-11	社会保障の発展過程を概観することとでその役割や理念等を理解し、その上で、とくに日本における社会保障制度の課題を検討する。	日本の現行社会保障制度が直面している具体的な課題を理解し、それについて自分自身の意見が持てるようになる。																							
産業経済論 E331-234-14	市場支配力を生み出す企業戦略の考え方を身につけると同時に、そうした市場が生み出す効率性の問題や、それらに対処するための経済政策について学んでいく。	1. 価格差別についてその種類や特徴を理解できる。 2. 費用超過産業における規制について理解できる。 3. ゲーム理論を用いた企業間競争について理解できる。 4. 合併の事例や効果について理解できる。																							
地域経済論 E231-234-09	地域の経済・産業の特色・課題や、それらの基礎をなす地域経済の構造(しくみ)について、理論・歴史・データを参照しながら学習する。パソコンでの分析実習も行う。	①地域分類ごとに、各地域の経済・産業の特色・課題を知る。 ②地域経済の基礎をなす地域経済の構造について理解する。 ③地元(市町村など)の地域経済について自分なりに分析し把握できるようにになる。																							

経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			基礎的学士力					発展的学士力					基礎的学士力			発展的学士力			総合的学士力				実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7						
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力						
中小企業論 E331-238-05	日本の企業のなかで中小企業は99%を占めている。もともと経営学という学問は主に大企業を対象として形づくられているが、経営学で学ぶからには99%という中小企業にも関心を寄せてほしい。本講義では、中小企業およびその経営・戦略について、正しく理解することを狙いとする。	経営学部の他の授業ではほとんど学ばない中小企業を対象としているため、中小企業の特徴、経営者の役割について学習する。そうした学習を通じて、大企業と中小企業との違いについて具体的に明確な説明ができるようにする。	理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力						
国際貿易論A・B E231-234-10 E231-234-11	現在の経済は貿易を無視することはできず、欧米やアジア各国との貿易が日本経済を左右している状況である。貿易の基礎理論とその影響について理解を深める。	自由貿易、国際収支やTPP、経済連携協定など貿易に関する話題は日々途絶えることがない。その言葉の意味や目的、政策選択が及ぼす影響などを理解する知識が習得できる。																							
国際金融論A・B E231-236-04 E231-236-05	国際金融に関する基礎的な用語、理論、制度を学ぶとともに、新聞や雑誌を使って時事的な問題について理解を深める。	国際金融の用語、理論、制度の枠組みに関する知識を身につけることにより、現実起こっている国際金融の複雑な問題を正しく理解できるようになる。																							
開発経済学A・B E231-234-19 E231-234-20	新興諸国における貧困・人口爆発・教育衛生問題、開発独裁などが先進諸国での繁栄と同時進行している現代課題について理論的な考察を行う。	地球規模での所得格差が経済のグローバル化とともに拡大している現状を理解することにより、開発援助や国際協力に対するポジティブな論議を培養することができ																							
アジア経済論 E331-234-21	日・韓自動車産業のものづくり型の比較を通じて、自動車や家電からインフラおよび重工業の分野にまで広がる日本の製造業の可能性を展望する。	製造業のものづくりの史的な転換と技術的進歩の仕組みが解り、ものづくりを基礎とする製造業ビジネスと業界の将来について見極める基礎的能力が培われる。																							
欧米経済論 E331-234-22	ヨーロッパの社会・経済が現代に至るまでいかなる経緯を経て成立したのかを理解し、これをふまえて今日のヨーロッパ社会が抱える問題について考える。	講義を通じて得た知識などに基づいて、問題の源泉がどこにあり、どのような経緯を経て今日の課題となっているのかを理解する。その上で、それらの問題について自分なりの意見を確立することを目指す。																							

経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

経済学部 カリキュラムマップ	授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力										E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
				基礎的学士力					基礎的学士力					基礎的学士力			基礎的学士力			総合的学士力				実践的学士		
				E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7						
				理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力						
多国籍企業論 E331-238-01	企業の経済活動のグローバル化の急速な進展によって今や業種を問わず大企業とともに中堅・中小企業も多国籍化してきている。そこで企業が多国籍化する基礎理論と実践的な知識の両方を学習する。	現代では大企業や中堅企業に限らず中小企業やベンチャー企業までが多国籍化を余儀なくされている。なぜ企業は多国籍化するのかを戦略面やコミュニケーション面を中心に体系的に理解し、実践できるようにする。	○																							
金融システム論 E231-236-03	前半では、我が国の金融機関の業態、機能、取り扱う金融商品について学ぶ。後半では、金融システム安定化のために実施されるブルードレンス政策について学ぶ。	我が国の金融システムにおける各種金融機関の役割を知るとともに、金融システム安定化政策の重要性について理解する。	○																							
金融政策論 E331-236-06	中央銀行の役割や金融政策の効果・手段、金融政策の歴史について学ぶ。理解を深めるため、金融に関するトピック的な話題も盛り込んでいく。	金融政策の目的・手段・効果について理解するとともに、現実に行われている金融政策が实体经济に及ぼす影響について理解・説明することができるようになる。	○																							
ファイナンス論 E331-236-07	ファイナンスは資金の流れに伴う広い領域を対象とするが、本講義では資金の運用サイドからみた投資理論と調達サイドからみたコーポレート・ファイナンスの基礎を学ぶ。	投資理論やコーポレート・ファイナンスを学ぶことにより、資本市場における資産価格の決定、企業における資金調達や投資案件の評価、投資家による資産運用、の仕組みや方法が分かるようになる。	○																							
地方財政論A・B E331-235-09 E331-235-10	地方の歳入・歳入構造及び予算制度を学んだ上で、地方税制、国と地方との財政的関係、地方分権について検討する。最終的には、「活力ある、豊かな地方」を確立するための政策論を展開していきたい。	地方の財政制度、地方税制及び国と地方の財政的関係を学ぶことにより、自ら所属する県や市町村の財政状況の「良し悪し」を分析できる能力を培うことができる。	○																							
会計学A・B E231-240-01 E231-240-02	会計とは、経済主体の経済活動について、関わりを持つ人々が、事情を分かった上で判断や意思決定ができるように、彼らに説明する社会的な行為である。会計とは何かから始め、会計の基本的な知識と考え方を習得する。	会計の考え方を身につけ、会計に関する幅広い知識を習得する。財務諸表を読んで判断や意思決定ができるようにする。	○																							



経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																	
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力
財務会計論Ⅰ・Ⅱ E331-240-03 E331-240-04	A:21世紀の会計の展開方向を確 認しながら、それを支援する会計 システムとしての共益三元簿記の 概要を説明する。 B:21世紀の会計の展開方向を確 認しながら、その展開を指導する 新概念フレームワークについて、 新旧の違いを明らかにして、近年 姿を現してきた会計の大転換の内 容を説 明する。	A:1. パチョーリの神聖簿記論 の理念を理解する。 2. 新しい会計システムの構造を 理解する。 3. 資本主義と企業主体説の違い を理解する B:1. 新旧の概念フレームワー クの違いを理解する。 2. 新しい会計が新資本主義への 移行を促すことを理解する。 3. 営利会計と非営利会計の統合 について理解する。						◎											
国際会計論Ⅰ E331-240-05	国際会計の目標は「どの国で作 られたものであっても、国際的に 理解され、情報の利用者が、適切 な判断と意思決定ができるような 会計情報をつくりだし、伝達する こと」である。その会計情報は「一 組の国際的な会計基準」に基づい て作成される必要がある。この講 義では、一組の国際的な会計基準 の必要性と各国の会計システムに ついて学習する。	一組の国際的な会計基準の必要性 について説明できるようにする。 各国の会計システムについて説明 できるようにする。国際的な会計 基準の調和化および統合について 説明できるようにする。						◎											
国際会計論Ⅱ E331-240-06	国際会計の目標は「どの国で作 られたものであっても、国際的に 理解され、情報の利用者が、適切 な判断と意思決定ができるような 会計情報をつくりだし、伝達する こと」である。その会計情報は「一 組の国際的な会計基準」に基づい て作成される必要がある。この講 義では、一組の国際的な会計基準 の具体的な現れである国際会計基 準審議会による国際財務報告基準 の内容とそれによる国際的統合に ついて学習する。	会計基準の国際的調和化から統合 への歩みについて説明できるよう にする。国際的会計基準の設定 機関について説明できるようにす る。IFRSに準拠して作成された 財務諸表を読むことができよう にする。国際的な会計基準の統合 によってより良き社会が実現でき るかについて自分の考えを述べる ことができるようにする。						◎											

経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																	
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力	応用的キャリア形成力
マーケティング論Ⅰ・Ⅱ E331-239-01 E331-239-02	企業のマーケティング活動とは、「動的に変化していく市場や環境に対し、企業が創造的に適応していく対市場活動」である。この授業では、マーケティング論の体系的のうち、基礎的・総論的な内容について学ぶ。	ビジネスにおいて必要とされる、マーケティングの基礎的な概念や理論を身につけることができ、将来、自らマーケティング戦略を策定し、実行するための基本的な能力を修得することができる。						◎											
グローバル・マーケティング論 E331-239-03	経済のグローバル化に伴い、ビジネスは多面的に展開される。本講座では、国際マーケティングについて、概要と諸理論に関する基礎と、その応用事例を学ぶことで、マーケティングの全体像を理解する。	国際情勢における経済の仕組み、経営活動におけるマーケティングの位置づけを理解することにより、地域社会における多様性に考えを及ぼすことができる。これにより問題点の発見、原因の解析、その解決策について多面的に考察する態度を養うことができる。						◎											
民法 E231-216-01	民法の中で、財産の帰属や取引に関わる財産法について学ぶ。財産法の基礎にあたる民法総則、物の帰属や移転に関わる物権法、契約や資金の回収に関わる債権法の中から、経済活動にとって特に重要な項目について学習する。	民法についての大まかな知識を獲得することができる。問題が生じた際に、その問題を解決するための考え方を身につけることができる。										◎							
租税法A(基礎) E231-212-01	本講義では、最近の租税に関する事例を題材として、租税法の基本原則、税金の種類と計算方法、申告と納税、税務調査と不服申立てなど基本的事項を修得する。	租税法の基礎知識を修得することができる。これにより、経済取引における予測可能性を確保するための税務の知識を養うことができる。																	
企業と法 E231-216-02	本講義では、会社についての法的な概念について学んだ上で、会社法の内容の中核である株式会社をめぐる法規制の基礎を学ぶ。	会社の役員が会社の運営を行ううえで遵守しなければならない規範の基礎を理解することができる。また、法的視点から見た株式会社のあるべきあり様についての知識が身につく。																	
行政法Ⅰ(総論)A E231-212-02	行政法の全体像および行政法総論の基礎的知識を学ぶ。	行政法の基本原理や独自のしくみを理解し、論理的文章で説明できる。																	
行政法Ⅰ(総論)B E331-212-03	行政法総論の現代的課題に関する発展的知識を学ぶ。	行政活動に対する法的統制の現状を分析し、論理的文章で説明できる。																	

経済学部 カリキュラムマップ	経済学部のディプロマポリシー (DP)															
	E-DP1 基礎的学士力			E-DP2 基礎的学士力		E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力			E-DP5 実践的学士				
	E-DP1-1 理論的基礎力	E-DP1-2 数量的理解力	E-DP1-3 コミュニケーション能力	E-DP1-4 ICT処理能力	E-DP1-5 文化的理解力	E-DP2-1 問題発見力	E-DP2-2 論理的思考力	E-DP3-1 応用的分析力	E-DP3-2 問題解決力	E-DP3-3 協働的実践力	E-DP4-1 実践的応用力	E-DP4-2 倫理的判断力	E-DP4-3 総合的構想力	E-DP4-4 生涯学習力	E-DP5 基礎的キャリア形成力	E-DP6 社会的基礎力
授業科目名 科目ナンバ	授業の到達目標															
授業の概要	授業の概要															
行政法Ⅱ(各論) E331-212-01	各領域における行政法理論の動向を分析し、論理的な文章で説明できる。															
中部経済論 E231-234-12	[財務省東海財務局の提議講座] 財務本省及び東海財務局などの現役財務省職員が講師として登壇し、財務省・金融庁の視点から「財政」「税制」「金融」等について講義が展開される。															
地域ビジネス論 E231-238-03	本講義のテーマは、商業を中心に地域に根差したビジネスの活性化策を模索することである。停滞または衰退地域のビジネス(商業集積、商店)の活性化およびまちづくりを進めるための理論的枠組みと実践的手法を学ぶ。															
エリア・リサーチⅠ E232-234-13	地域経済の振興を担うシンクタンク(政策研究機関)である中部(国)社会経済研究所と連携し、地域経済を分析するために必要な知識や事例等を学ぶ。															
エリア・リサーチⅡ E232-238-05	この講義では、中部地域に立地する企業の事例研究を行う。この事例研究は、我が国の中でも製造業が集積する地域のひとつである中部地域の製品戦略を組織間関係の視点で学習することにある。															
エリア・リサーチⅢ E232-238-06	(1) 成果の達成、(2) 成果達成に関連する個と集団との関係、学外者との関係維持、プロジェクトの厳しさをやゆしさを実践を通じて生きた言葉で表現できるようにする、(3) 自らの能力理解にたいして表明できるようにすることを目指す。															

経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																			
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力				E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7		
			理論的基礎力	数量的解決力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会人基礎力	応用的キャリア形成力		
専門演習 I E232-842-01	4 年次「卒業論文」執筆の基礎となる研究方法・論文執筆の基本的なノウハウなどを学ぶとともに、演習テーマに関連する基礎的な文献を精読し、少人数による討論を行い、専門分野の理解を深める。	専門分野の基礎的内容を理解できるとともに、文献の読み方、関連資料・データの収集の仕方、レジュームの書き方、プレゼンテーションと討論の仕方といった、学びの基礎的能力を身につけ、それを実践することができる。			○				○				○								
専門演習 II E332-842-02	演習テーマに関連する問題についてさらに文献・資料を読み込み、相互に討論するなかでテーマを掘り下げていき、卒業論文の研究テーマを探る。	演習テーマに関する専門の問題について理解を深め、プレゼンテーションや討論をとおして課題を設定する能力を身につけ、卒業論文を準備することができる。			○				○				○								
専門演習 III E432-842-03	専門演習 II までの学びの成果を踏まえて、よりいっそう専門的な問題について文献読解、プレゼンテーション、討論などを通じてその理解を深める。そのうえで、演習における学びの総括として卒業論文の完成を目指す。	専門的な個人研究テーマを設定し、それに関する研究を主体的に進めることができ、課題を解決する力を身につけて卒業論文を構想することができる。			○				○				○								
卒業論文 E436-845-01	専門演習 I・II・III の学びのなかから、卒業論文のテーマを具体的に決定し、それに関連する文献の収集と精読を行い、論文の完成を目指す。	卒業論文のテーマに関する参考文献やデータを広く収集し、論点を整合的に整理することができる。論文の編別構成を適切に組み立て、論理的な文章をもって論文を執筆することができる。			○				○				○								
専門講読 I (英語) E212-843-01	経済学の各分野やトピックスに関する基礎的な内容の英語文献を読み、経済学の専門用語やその内容を理解する。	基礎的な内容の英語文献を精読することによって英語読解力を高めるとともに、経済学と経済諸問題を理解することができる。			○				○				○								
専門講読 II (英語) E212-843-02	経済学の各分野やトピックスに関する発展的な内容の英語文献を読み、経済学に関する諸問題の理解を深める。	発展的な内容の英語文献を精読することによって英語読解力を向上させるとともに、経済学と経済諸問題を深く理解することができる。			○				○				○								
専門講読 III (英語) E312-843-03	経済学の各分野やトピックスに関する専門的および応用的な内容の英語文献を読み、経済学に関する専門的諸問題の理解を深める。	専門的・応用的な内容の英語文献を精読することによって英語読解力を磨くとともに、専門的な経済諸問題を理解することができる。			○				○				○								

経済学部 カリキュラムマップ

経済学部のディプロマポリシー (DP)

経済学部 カリキュラムマップ	授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力					E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士				
				基礎的学士力		基礎的学士力		基礎的学士力		基礎的学士力		基礎的学士力		発展的学士力		発展的学士力		総合的学士力		総合的学士力		実践的学士	
				E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7			
				理論的基礎力	数量的解決能力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会人基礎力	応用的キャリア形成力			
経済学特講 I E331-238-04	民間企業の管理部門で勤務経験のある教員が、その経験を活かし、企業活動の土台を支えるガバナンス、内部統制、リスクマネジメントという経営管理に関する項目を説明し、企業の社会的な責任について考察する。	企業の持続的な存続に不可欠な項目について理解する。関連する新聞記事を読み、自分の意見を述べることができる。ケーススタディの内容を理解し、論理的根拠に基づき意思決定を行う。グループ討議で最適解を導く協働を実践できる。	理論的基礎力	数量的解決能力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会人基礎力	応用的キャリア形成力				
経済学特講 II E331-234-25	インドを中心に南アジア地域の経済発展の特徴・形態について、その背景や要因を経済的な視点だけでなく文化的、政治的な視点を含めて考察する。	現代の南アジア経済に関する基本的な知識を習得し、グローバル化が進む中で身近になりつつある南アジア社会に関心を持ち、自分の生活とも密接に結びついていることを理解することを目標とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
経済学特講 III E331-234-27	社会主義経済と社会主義市場経済という時代背景の下で、現代中国経済成長に対する理解を深めることを目的としている。具体的には、計画経済から社会主義市場経済への移行、WTO加盟後における各時期の出来事(制度・政策的、経済的な側面)について、さまざまな視点から取り上げる。さらに、中国経済の特徴、成長要因、経済政策などの基礎を解説する。	なぜ中国経済は他の先進国とは異なる歩みでここまで成長できたのか、中国経済が世界の中でどのような役割を果たしているのかを理解する。また、物事を捉える際には、政治的な視点だけでなく、歴史のおよぼす制度的な視点から考えることができるようになる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
経済学特講 IV E231-234-24	現在さまざまな課題を抱える日本であるが、第二次世界大戦後の廃墟の中から甦ってきた歴史がある。それはどうして可能になったのか。東西冷戦という現代史の中で、今後に生かすヒントを得る。	日本と世界の現代史と現状を把握する方法を学び取り、それらを基盤として将来の社会の在り方と自らの対応の仕方を、自分の力で考えることができる能力を身につける。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
経済学特講 V E231-235-12	政治(行政)は社会のあらゆる分野と深いかわりを持つ。政治の実態を知ることは、地域社会や経済の課題を理解するうえで欠かせない重要な要素である。知事・市長の経験から等身大の政治(行政)の姿を伝えたい。	多面的なものの見方やその背後にある真実を見抜く力を養ってほしい。政治に関心のある学生を大いに歓迎する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			



経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																			
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力				E-DP3 発展的学士力				E-DP4 総合的学士力				E-DP5 実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6	E-DP7		
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会人基礎力	応用的キャリア形成力		
キャリア・デザインII E231-861-01	卒業後に社会人として目指す自分の姿を明確にし、そのために必要な社会人基礎力を養う。社会人として求められる思考力や行動力を、演習を通して体験的に学ぶ。SPI試験の内容を理解し、インターンシップの早期参加を視野に入れ、応募書類を作成して面接練習を行うなど、3年次の本格的な就職活動への助走とする。	現在の自分の「人間力」を客観的に理解することができる。将来のなりたいたい自分に必要な社会人基礎力(「考え抜く力」・「前に進む力」・「チームで働く力」)を実践することができる。卒業後の目指す姿に近づくための目標と行動計画を立てることができ、応募書類の作成を通して自分のことを相手に分かりやすく伝えられるようになる。SPI試験問題の内容を理解し対応できる力をつける。																			
キャリア・デザインIII E231-861-09	就職活動が必要とされる力の向上を図り、グループワーク(グループディスカッションやグループ面接など)やエントリーシート作成など実践中心の内容とする。社会人として求められる問題解決への思考力と行動力を演習を通して体験的に学ぶ。大学の学びを将来の社会における自己実現につなぐため、自身のキャリアデザインをつくり、キャリア形成力やキャリアへの意識、マインドを養う。	自己について分析したものを論理的に伝えることができる。エントリーシート作成やグループワークの実践により、主体的に就職活動に臨む力を身につける。自己の人間力を基礎として、社会人基礎力(「考え抜く力」・「前に進む力」・「チームで働く力」)を社会で活かすことを予測し、実践することができる。自己の将来のキャリアを含めた「ライフデザインマップ」をつくる。SPIの不得意項目の克服に向けて目標と計画を立てることができ、																			
産官民連携講座I 税理士による租税講座 E231-861-02	税務の専門家である税理士から、税法、税制や会計について学び、税法と税理士の関わりや税理士業務の意義と役割について学ぶ。	税法、税制や会計の基本を理解し、租税に関する法や法理論の機能と課題等、税務の実際を知り、税理士業務の意義について説明できる。																			



経済学部 カリキュラムマップ		経済学部のディプロマポリシー (DP)																
授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	E-DP1 基礎的学士力				E-DP2 基礎的学士力			E-DP3 発展的学士力			E-DP4 総合的学士力			E-DP5 実践的学士		
			E-DP1-1	E-DP1-2	E-DP1-3	E-DP1-4	E-DP1-5	E-DP2-1	E-DP2-2	E-DP3-1	E-DP3-2	E-DP3-3	E-DP4-1	E-DP4-2	E-DP4-3	E-DP4-4	E-DP5	E-DP6
			理論的基礎力	数量的理解力	コミュニケーション能力	ICT処理能力	文化的理解力	問題発見力	論理的思考力	応用的分析力	問題解決力	協働的実践力	実践的応用力	倫理的判断力	総合的構想力	生涯学習力	基礎的キャリア形成力	社会的基礎力
産官兵連携講座Ⅵ E231-861-07	社会保険労務士(社労士)の仕事領域を知ることを通じて、社会的課題へのアプローチ、「働き方改革」や「女性活躍推進」といったトピックを学ぶこととおして、健全な働き方について実践的に理解することができる。 また、社会保険労務士の実際、資格を活かした働き方、労働法・社会保険関連の基礎知識を学修する。	ワークルールの理解、社会保険労務士の実際、資格を活かした働き方、労働法・社会保険関連の基礎知識を活用し、現実の事象を説明することができる。																◎
インターンシップ E339-861-08	企業や行政機関など実際の職場での就業体験をとおして、働くことの意味や就職に向けて準備すべきことなどについて考える。事前研修、事前訪問、事後報告会によって研究成果を高める。	就業体験をとおして大学での学修成果を実践し、協働の場で活躍するために必要なことを再認識することができる。さらに今後の大学での学びや進路の方向性を定めることができる。																◎

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

## Ⅵ. 諸規則

### 愛知学院大学学則・別表

※学則は大学ホームページで確認してください。



### 愛知学院大学履修に関する規程

### 愛知学院大学試験に関する規程

### 愛知学院大学試験における不正行為に関する規程

### 愛知学院大学 GPA 制度に関する内規

### 愛知学院大学特待生奨学金規程

### 愛知学院大学学生表彰規程

### 愛知学院大学学位記授与に関する規程

### 退学勧告の運用に関する細則

### 外国の大学等で修得した単位の認定要領

### 大学以外の教育施設等における学修に対する単位の認定要領

### 愛知学院大学仏教専修科規程

### 仏教専修科受講要領

※大学ホームページで確認してください。



### 緊急時の授業等取扱に関する内規（日進・名城公園キャンパス）

※大学ホームページで確認してください。



### 本学の個人情報保護に関する取組みについて

※大学ホームページで確認してください。



### 第3年次への進級に関する内規

### 卒業論文取扱い規程

### 単位互換履修（特別聴講）実施要領

※次ページ以降で確認してください。

別表4  
経済学部 経済学科

部門	分野	授業科目名	単位数		備考
			必修	選択	
教養教育科目	宗 教	宗 教 学 I	2		4 単位修得
		宗 教 学 II	2		
	教養セミナー「学問の発見」	教養セミナー「学問の発見」I	1		4 単位以上修得
		教養セミナー「学問の発見」II	1		
		教養セミナー「学問の発見」III	1		
		教養セミナー「学問の発見」IV	1		
	人 文 系	心 理 学 I	2		4 単位以上修得
		心 理 学 II	2		
		哲 学 I	2		
		哲 学 II	2		
		論 理 学 I	2		
		論 理 学 II	2		
		文 学 I	2		
		文 学 II	2		
	社 会 系	法 学 I	2		4 単位以上修得
		法 学 II	2		
		政 治 学 I	2		
		政 治 学 II	2		
		社 会 学 I	2		
		社 会 学 II	2		
		教 育 学 I	2		
		教 育 学 II	2		
	自 然 系	数 学 I	2		4 単位以上修得
		数 学 II	2		
		統 計 学 I	2		
		統 計 学 II	2		
		物 理 学 I	2		
		物 理 学 II	2		
		化 学 I	2		
		化 学 II	2		
	主 題 系	生 物 学 I	2		4 単位以上修得
		生 物 学 II	2		
		仏教と現代社会 I	2		
		仏教と現代社会 II	2		
		禪と人間 I	2		
		禪と人間 II	2		
		生命に関する諸問題 I	2		
		生命に関する諸問題 II	2		
		人間行動の理解 I	2		
		人間行動の理解 II	2		
		人間の尊厳と平等 I	2		
		人間の尊厳と平等 II	2		
		日本の文化と社会 I	2		
		日本の文化と社会 II	2		
		アジアの文化と社会 I	2		
		アジアの文化と社会 II	2		
		ヨーロッパの文化と社会 I	2		
		ヨーロッパの文化と社会 II	2		
		英語圏の文化と社会 I	2		
		英語圏の文化と社会 II	2		
	人間と環境 I	2			
	人間と環境 II	2			
情報と社会 I	2				
情報と社会 II	2				
産業と科学 I	2				
産業と科学 II	2				
ソフトウェア概論 I	2				
ソフトウェア概論 II	2				
健康の科学	2				
外 国 語 科 目	英 語	英 語 I a	1		4 単位修得(注1)
		英 語 II a	1		
		英 語 I b	1		
		英 語 II b	1		
	ドイ ツ 語	ドイ ツ 語 I	1		ドイツ語・中国語・韓国語・スペイン語の中から1言語を選択して2単位修得(注1)
		ドイ ツ 語 II	1		
	中 国 語	中 国 語 I	1		
		中 国 語 II	1		
	韓 国 語	韓 国 語 I	1		
		韓 国 語 II	1		
	ス ペ イ ン 語	ス ペ イ ン 語 I	1		
		ス ペ イ ン 語 II	1		
文 化 事 情	ドイ ツ 文 化 事 情	2		2 単位修得(注1)	
	中 国 文 化 事 情	2			
	韓 国 文 化 事 情	2			
	ス ペ イ ン 文 化 事 情	2			

22 単位以上修得

部門	分野	授業科目の名称	単位数		備考
			必修	選択	
教養教育科目	外 国 語 科 目	英 会 話 I		1	22 単位以上修得
		英 会 話 II		1	
		英 会 話 III		1	
		英 会 話 IV		1	
		メ ディ ア 英 語 I		1	
		メ ディ ア 英 語 II		1	
		メ ディ ア 英 語 III		1	
		メ ディ ア 英 語 IV		1	
		英 語 表 現 法 I		1	
		英 語 表 現 法 II		1	
		英 語 表 現 法 III		1	
		英 語 表 現 法 IV		1	
		英 語 読 解 法 I		1	
		英 語 読 解 法 II		1	
		英 語 読 解 法 III		1	
		英 語 読 解 法 IV		1	
		実 践 英 語 I		1	
		実 践 英 語 II		1	
		実 践 英 語 III		1	
		実 践 英 語 IV		1	
		ドイ ツ 語 I (基礎)		1	
		ドイ ツ 語 II (基礎)		1	
		ドイ ツ 語 III (読解)		1	
		ドイ ツ 語 IV (読解)		1	
		ドイ ツ 語 III (表現)		1	
		ドイ ツ 語 IV (表現)		1	
		ドイ ツ 語 III (総合)		1	
		ドイ ツ 語 IV (総合)		1	
		ドイ ツ 語 会 話 I		1	
		ドイ ツ 語 会 話 II		1	
		中 国 語 I (基礎)		1	
		中 国 語 II (基礎)		1	
		中 国 語 III (読解)		1	
		中 国 語 IV (読解)		1	
		中 国 語 III (表現)		1	
		中 国 語 IV (表現)		1	
		中 国 語 III (総合)		1	
		中 国 語 IV (総合)		1	
		中 国 語 会 話 I		1	
		中 国 語 会 話 II		1	
		フ ラ ン ス 語 I (基礎)		1	
		フ ラ ン ス 語 II (基礎)		1	
		フ ラ ン ス 語 III (総合)		1	
		フ ラ ン ス 語 IV (総合)		1	
		韓 国 語 I (基礎)		1	
		韓 国 語 II (基礎)		1	
韓 国 語 III (読解)		1			
韓 国 語 IV (読解)		1			
韓 国 語 III (表現)		1			
韓 国 語 IV (表現)		1			
韓 国 語 III (総合)		1			
韓 国 語 IV (総合)		1			
韓 国 語 会 話 I		1			
韓 国 語 会 話 II		1			
韓 国 語 会 話 III		1			
韓 国 語 会 話 IV		1			
ス ペ イ ン 語 I (基礎)		1			
ス ペ イ ン 語 II (基礎)		1			
ス ペ イ ン 語 III (読解)		1			
ス ペ イ ン 語 IV (読解)		1			
ス ペ イ ン 語 III (表現)		1			
ス ペ イ ン 語 IV (表現)		1			
ス ペ イ ン 語 III (総合)		1			
ス ペ イ ン 語 IV (総合)		1			
ス ペ イ ン 語 会 話 I		1			
ス ペ イ ン 語 会 話 II		1			
健 康 総 合 科 学	ス ポ ー ツ 科 学 I	1		2 単位修得	
	ス ポ ー ツ 科 学 II	1			
	ス ポ ー ツ 科 学 III	1			
	ス ポ ー ツ 科 学 IV	1			
海 外 事 情	海 外 事 情 I	2			
	海 外 事 情 II	2			
	海 外 事 情 III	1			
	海 外 事 情 IV	1			

部門	分野	授業科目名	単位数		備考
			必修	選択	
基礎科目		ミクロ経済学Ⅰ	2		20単位修得
		ミクロ経済学Ⅱ	2		
		マクロ経済学Ⅰ	2		
		マクロ経済学Ⅱ	2		
		経済数学Ⅰ	2		
		経済数学Ⅱ	2		
		キャリア英語Ⅰ	2		
		キャリア英語Ⅱ	2		
		情報リテラシーA	2		
		情報リテラシーB	2		
基幹科目		経済統計学A	2		16単位以上修得
		経済統計学B	2		
		経済学史A	2		
		経済学史B	2		
		一般経済史A	2		
		一般経済史B	2		
		経済政策論A	2		
		経済政策論B	2		
		社会政策論A	2		
		社会政策論B	2		
		日本経済論A	2		
		日本経済論B	2		
		国際経済学A	2		
		国際経済学B	2		
専門教育科目	第一類	金融論A	2		76単位以上修得
		金融論B	2		
		財政学A	2		
		財政学B	2		
		ミクロ経済学Ⅲ	2		
		マクロ経済学Ⅲ	2		
		計量経済学A	2		
		計量経済学B	2		
		社会思想史	2		
		日本経済史A	2		
		日本経済史B	2		
		西洋経済史A	2		
		西洋経済史B	2		
		労働経済学A	2		
		労働経済学B	2		
		環境経済学A	2		
		環境経済学B	2		
		環境政策論	2		
		都市経済学A	2		
		都市経済学B	2		
		公共経済学A	2		
		公共経済学B	2		
		農業経済学A	2		
		農業経済学B	2		
		農業政策論	2		
		現代産業論A	2		
		現代産業論B	2		
		企業経済学	2		
		社会保障論	2		
		産業組織論	2		
		地域経済論	2		
		中小企業論	2		
		国際貿易論A	2		
		国際貿易論B	2		
		国際金融論A	2		
		国際金融論B	2		
開発経済学A	2				
開発経済学B	2				
アジア経済論	2				
欧米経済論	2				
多国籍企業論	2				
金融システム論	2				
金融政策論	2				
ファイナンス論	2				
地方財政論A	2				
地方財政論B	2				
会計学A	2				
会計学B	2				
租税制度論A	2				
租税制度論B	2				
経済情報論A	2				
経済情報論B	2				
経済情報処理A	2				
経済情報処理B	2				
国際法A	2				
国際法B	2				

部門	分野	授業科目名	単位数		備考	
			必修	選択		
専門教育科目	第二類	財務会計論Ⅰ	2		76単位以上修得	
		財務会計論Ⅱ	2			
		国際会計論Ⅰ	2			
		国際会計論Ⅱ	2			
		マーケティング論Ⅰ	2			
		マーケティング論Ⅱ	2			
		グローバル・マーケティング論	2			
		総合民法	2			
		租税法A(基礎)	2			
		企業と法	2			
	行政法Ⅰ(総論)A	2				
	行政法Ⅰ(総論)B	2				
	行政法Ⅱ(各論)	2				
	第三類	中部経済論	2			
		地域ビジネス論	2			
		エリア・リサーチⅠ	2			
		エリア・リサーチⅡ	2			
		エリア・リサーチⅢ	2			
		第四類	専門演習Ⅰ	2		
			専門演習Ⅱ	4		
			専門演習Ⅲ	4		
			卒業論文	4		
			専門講読Ⅰ(英語)	2		
	専門講読Ⅱ(英語)		2			
	専門講読Ⅲ(英語)		2			
	経済学特講Ⅰ		2			
	経済学特講Ⅱ		2			
	経済学特講Ⅲ		2			
	経済学特講Ⅳ	2				
	経済学特講Ⅴ	2				
	経済学特講Ⅵ	2				
	経済学特講Ⅶ	2				
	キャリア英語Ⅲ	2				
	キャリア英語Ⅳ	2				
	ビジネス英語A	2				
	ビジネス英語B	2				
キャリア教育科目	キャリア・デザインⅠ	2		2単位以上修得		
	キャリア・デザインⅡ	2				
	キャリア・デザインⅢ	2				
	産官民提携講座Ⅰ	2				
	産官民提携講座Ⅱ	2				
	産官民提携講座Ⅲ	2				
	産官民提携講座Ⅳ	2				
	産官民提携講座Ⅴ	2				
	産官民提携講座Ⅵ	2				
	インターンシップ	2				
自由選択科目	キャリア・デザイン	2		(注2)		
	サービスマーケティング実習Ⅰ	1				
	サービスマーケティング実習Ⅱ	1				
	サービスマーケティング実習Ⅲ	1				
	サービスマーケティング実習Ⅳ	1				
	課題解決型演習Ⅰ	2				
	課題解決型演習Ⅱ	2				
	課題解決型演習Ⅲ	2				
	課題解決型演習Ⅳ	2				
	長期インターンシップ	4				
地域連携学B	2					
地域連携学C	2					
地域連携学D	2					
卒業要件	教養教育科目 36 単位以上、専門教育科目 76 単位以上、キャリア教育科目 2 単位以上を含め、128 単位以上とする。 (注1) 外国人留学生・帰国学生については、別に定める。 (注2) 自由選択科目は、卒業要件に含むことはできない。 ※ 「韓国語会話Ⅲ・Ⅳ」は、2024 年度以前の入学者についても適用する。 ※ 「スペイン語Ⅲ・Ⅳ(読解)」、「スペイン語Ⅲ・Ⅳ(表現)」、「スペイン語Ⅲ・Ⅳ(総合)」、「スペイン語会話Ⅰ・Ⅱ」は、2024 年度以前の入学者についても適用する。					

別表 17

文学部(宗教学科・歴史学科・英語英米文化学科・日本文化学科)・商学部・経営学部・経済学部・法学部・心理学部共通  
 (外国人留学生・帰国学生)

部門	分野	授業科目名	単位数		備考
			必修	選択	
教養教育科目	外国語科目	日本語 I a	1		6単位修得
		日本語 II a	1		
		日本語 I b	1		
		日本語 II b	1		
		日本語 I c	1		
		日本語 II c	1		
		日本語 I d		1	4単位修得 (ただし、英語Ia～IIcのうち4単位を振り替えることができる。)
		日本語 II d		1	
		日本語 I e		1	
日本語 II e		1			

外国人留学生・帰国学生については、別表1～5及び8に定める英語Ia～IIcの6単位及びドイツ語I～II、中国語I～II、韓国語I～II、スペイン語I～II、外国語科目の文化事情、のいずれか4単位に代えて、日本語Ia～IIeの10単位を履修することができる。経済学部は、開講されていない英語Ic・IIcの2単位分を、教養基幹科目の卒業要件単位として振り分ける。

## 第3年次への進級に関する内規

- 1 この内規は、文学部・商学部・経済学部・法学部・総合政策学部・健康科学部及び心理学部における学生の学科履修指導を目的とする。なお、歯学部、薬学部及び経営学部に関する内規については、別に定める。
- 2 前項の目的を達成するため、学年が2年次から3年次へ進級する場合、その修得単位数に一定の条件を課する。
- 3 2年次修了時に、卒業要件単位のうち修得単位数48単位以上修得した者は、3年次進級とする。
- 4 この内規の改廃は代表教授会の決議による。
- 5 この内規に関する事務は教務部教務課が取り扱う。

### 附則

この内規は、平成6年4月1日より施行する。(平成6年度入学生から適用する)

この内規は、平成11年4月1日より施行する。(平成10年度入学生から適用する)

この内規は、平成15年4月1日より施行する。(平成15年度入学生から適用する)

この内規は、平成18年4月1日より施行する。

(平成18年度入学生から適用する。ただし、薬学部については平成17年度入学生から適用する)

この内規は、平成25年4月1日より施行する。(平成25年度入学生から適用する)

この内規は、令和4年4月1日より施行する。(令和4年度入学生から適用する)

この内規は、令和5年4月1日より施行する。(令和5年度入学生から適用する)

## 卒業論文取扱い規程

第1条 卒業論文は、愛知学院大学学則第7条第1項(5)に従い、所定の期間の指導を受けて提出された成果で評価する。

第2条 卒業論文の提出は、所定の指導期間後に設定された期日刻限までに行われなければならない。ただし、期日刻限に提出を行わなかった者のうち、開講学部が指定する条件を満たした場合は、次の学期の別途期日刻限までに提出することができる。

第3条 この規程の改廃は代表教授会の議を経て、学長が決する。

第4条 この規程に関する事務は教務部教務課が取り扱う。

### 附則

この規程は、平成27年12月1日から施行する。

## 単位互換履修(特別聴講)実施要領

### (目的)

1. この要領は、愛知学院大学(以下「本学」という。)と他大学との間で締結された「単位互換に関する包括協定」に基づき、本学に在籍する学生が単位互換履修(特別聴講)ー以下「本履修」という。ーを行うために必要な事項を定める。

### (履修可能な単位数)

2. 本履修によって履修できる単位数、及び、本履修によって修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなされる単位数は、いずれも本学学則第8条の2第1項に定める60単位を超えないものとする。

### (卒業要件単位認定の可否)

3. 本履修により受講する科目の卒業要件への算入は、在籍学部学科の定めるところによる。

### (出願手続)

4. 本履修を希望する学生は、所定の出願票を所定の期日までに本学へ提出し、希望科目開講大学による選考を受けなければならない。

### (履修制限単位数)

5. 本履修が認められた科目の単位数は、本学における制限単位に算入する。

### (不許可科目の処置)

6. 出願した本履修が認められなかったときは、所定の期日までに本学において履修登録科目の変更を行うことができる。

### (事務処理)

7. この要領の事務処理は、教務課が行う。

### (施行)

8. この要領は、平成14年4月1日から施行する。

この要領は、平成20年4月1日から施行する。

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

---

愛知学院大学 名城公園キャンパス  
〒462-8739 愛知県名古屋市北区名城3-1-1 TEL052-911-1011(代)  
編集/名城公園キャンパス事務室 <https://www.agu.ac.jp/>

---

2026年3月発行

# 愛知学院大学

本履修要項は、卒業時まで使用しますので大切に使用してください。

●履修要項は、WebCampusからも確認できます。

掲載内容に変更が生じた場合についても、以下のページでお知らせいたします。

[アクセス方法] WebCampus「外部機能リンク集」→「学部生用」→「学部生（日進・MKC共通）」→「2.履修要項」